

広報

鳥海の里

題字
白光支援課 小野麗子さん

第158号 令和元年12月25日

発行 秋田県心身障害者コロニー
保護者会

保護者会事務局
TEL (0184) 32-1082 FAX (0184) 32-1083

秋田県心身障害者コロニー
秋田県由利本荘市西目町出戸字孫七山3の2
TEL (0184) 33-2255 FAX (0184) 33-2044

ホームページアドレス <http://www.fukinoto.or.jp/colony> E-mail colony@fukinoto.or.jp



グループホーム
自治会旅行の一コマ



主な内容

- * 令和元年度の新たな取り組みとして、「ふれあい交流会」での社会貢献…2
- * 令和元年度自己評価……………3
- * 行事スナップギャラリー……………4～5
- * 保護者会親睦交流会 他……………6



令和元年度の新たな取り組みとして

管理者 加藤 敦

コミュニケーションや感情・衝動のコントロールが苦手だつたり、興味や関心が限られ強い執着を示すなど、専門的な支援が必要な方々の安定した生活を目指すことを目的に、昨年度開設した「あじさい寮」の施設入所支援事業が今年度四月にスタートしました。昨年度は、日中だけのサービス提供でしたが、入所形態となつたことで、夜間の環境の変化により、不適応行動が表出し、利用者、職員ともに慣れ受けた職員が配置されており、利用者個々の不適応の原因を探り、職員間で情報共有して対応することで、次第に解消されていきました。また、当法人と契約している秋田大学の准教授である支援アドバイザーの定期的な指導も受けながら、利用者個々の状況を分析し、専門性を高めています。最近では、二ヶ月の高い行動障がいを呈する方々の専門の棟を開設したこと、関係機関から見学依頼が多く、対応しているところです。

もう一つは、就労継続支援事業B型で取り組む小型家電リサイクルです。パソコンや携帯電話などの小型家電の再資源化を目指し、回収・分解・分別を行っています。この作業によりゴミの減量化、環境保護、資源のリサイクルが実現し、障がいのある方々の工賃の向上に繋がります。また、障がい者が直接企業に出向いて行う作業を通して、障がい者と社会に新しい接点が生まれ、福祉施設が企業や社会に貢献できる事業です。地域の方々や関係機関のご協力により、事業が順調に進んでおり、十一月現在でパソコンの回収台数は約千台を数えています。そして、基板回収三百キロを達成し、初出荷を迎えることができました。今後も、皆様のご協力を得ながら事業を拡大していくたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

令和の時代を迎え、新しいスタートを切った二つの事業を紹介しましたが、今後も社会のニーズに応えていくために、地域の福祉事業所として前進して参りますので、何卒ご支援の程よろしくお願ひ致します。

ふれあい交流会での社会貢献

コロニーでは社会貢献事業の一環として、地域で生活されている障がいのある方を対象にした「ふれあい交流会」を毎月開催し、交流の場を提供しています。無料で参加いただいております。

コロニーには才能あふれる職員がたくさんいます。この職員という社会資源を生かし、地域に社会貢献ができるかという思いから始まり、今年で5年目になりました。

今年度は、栄養士による料理教室、就労継続B型事業の製パンの職員のパン教室、園芸職員のガーデニング教室、外部の講師をお招きしてミュージックセラピーやジャズダンス、クリスマスリース教室など、誰でも気軽に参加できる内容で開催しております。8月には由利高原鉄道に乗って田園風景を楽しみました。

由利本荘地域生活支援センターに協力を願い、毎回相談員に同席していただいて、様々なことを相談できる場にもなっています。

初めて参加される方の中には緊張される方もいますが、皆さんすぐに打ち解けて、楽しい時間を過ごされています。職員も皆さんとお会いできるのを楽しみにしております。

これからも「ふれあい交流会」を通して地域の方がより良い生活が送れますよう、社会貢献活動を続けていきたいと思います。



由利高原鉄道に乗ろう



ガーデニング教室

令和元年9月に「福祉サービス第三者評価及び内容評価」を基に当法人が作成した「自己評価基準」により自己評価を実施ました。評価結果を踏まえ施設運営における課題を把握するとともに、サービスの質の向上に向けた効果的な取組みを行うことで、利用される方へのより良いサービス提供ができるよう努めていきたいと思います。

★地域支援課

【グループホーム】

- ・自治会として奉仕活動を行ったり、敬老会や地域のミニデイサービスにも参加しているが高齢化とともに地域との交流の機会が限られてきている。今後は支援体制を整え参加の機会を増やしていく。
- ・災害対策については、避難訓練の回数を増やし実施している。今後は災害時に利用者自身が自主的に行動できるよう、職員不在想定の避難訓練にも取り組んでいく。
- ・認知症や高齢利用者への理解や知識・技術を深めるため今後も継続して研修を実施し、職員の知識を深めていく。

【あじさい棟】

- ・虐待防止への取り組みとして、「職員の倫理・行動基準」の読み合わせを行い、職員個々の考え方を出し合いながら意思統一を図っている。また、支援手順書を基本に自分たちが行っている支援の根拠をしっかりと伝えることができるよう今後も支援技術の向上を図っていく。

★創生支援課

- ・創生職員から提案された虐待防止に関する取組を進めることで、職員一人一人の意識付けをさらに強化していく。
- ・認知症状の進行が見られる利用者が増えてきている現状を踏まえ、認知症に関する研修に積極的に参加したり、各寮が抱える課題に関して意見交換を行いながら、認知症に対するスキルアップを図っていく。

★銀杏支援課

- ・利用者に情報提供しながら地域での活動に参加できるよう取り組んでいく。
- ・なんでも相談での事柄について、内容を用紙に記載することで、職員が共有できる環境を作りより良い支援につなげていく。
- ・身体拘束、動作制限について、極力、支援員が見守り可能な時間など、解除できる時間が長くなっている。今後も解除に向け取り組んでいく。
- ・行事の際に、利用者から意見や要望を上げてもらい反映させているが、まだ一部の利用者に限定されている。今後は写真の提示など工夫しながら多数の利用者の意見を反映できるよう取り組む。

★赤光支援課

- ・余暇・レクレーション活動に関して、利用者自身が選択できるよう活動及び身体機能面に合わせた活動の場の提供を「課全体の取り組み」として検討する。
- ・ヒヤリハット報告の「インシデント」に注目することで、リスクマネジメントを行い、また、対策として、マンパワーに代わる福祉機器の試用や導入も検討していく。

★白光支援課

- ・行動障がいについての理解を深め、支援の根拠となるサービス提供手順書の作成を進めることで虐待防止に対する意識改革、利用者の権利や尊厳を重んじた支援を行うよう取り組んでいく。
- ・行動特性やこだわりの強い方及び個別の支援が必要な方については、サービス提供の手順書（フローチャート）を作成し、職員へ周知することで、統一した支援を行い、サービス向上へ努めしていく。

★開成支援課

- ・秋田県受動喫煙防止条例に基づき、喫煙者のための特定野外喫煙場所を整備する。
- ・社会生活力を高めるため、他者との話し方やコミュニケーションなどエンパワメントプログラムを整備するとともに、社会資源を活用した買物、交通機関利用等の体験や学習の機会を推進する。

思い出いっぱい

行事スナップ集

サイコー!!



開成支援課・夏祭り

がんばりました!



おいしい~



んぬ~

銀杏支援課西棟・
楽しみ会



ケー丰
大好き!



きれい
だな~

鳴子の
元気な音を
奏でました♪



一致団結!!



楽しく
お食事中~♪





保護者会親睦交流会

去る10月28日、「にしめ湯っ娘ランド」において親睦交流会が開催されました。

例年は、県北・中央地区、県南地区、本荘由利地区の3地域に分かれて実施しておりましたが、今年度は参加の少ない地域があったため、本荘由利地区での合同開催となりました。

当日は、24家族26名のご参加をいただき自己紹介を兼ねて普段感じていることなどを話し合いました。施設利用を始めてまだ数年という方は、子供さんを施設に入所させたときの辛い思いを話してくださいました。

先輩保護者の皆さんからは、「このような声こそがこの会を開催する本当の意味がある。ここにいる誰もが同じ思いをして乗り越えてきた道であり、自分を責めるのではなく、自分を理解し寄り添える仲間が増えたと思ってほしい」という励ましの言葉があり、拍手が起こるなど会員同士の交流の深まりを感じました。

また、施設からは管理者・支援部長をはじめ、各支援課課長の皆さんにも出席していただき各課の特徴や取り組み等について詳しく説明をしていただきました。

親睦交流会を開催して7年。保護者の方々の高齢化や世代交代等により参加者が年々減少しておりますが、保護者会活動の役割について改めて考えさせられる一日となりました。



△利用者	お悔やみ
創生支援課	二郎さん（六十九歳）
創生支援課	浅利 順男さん（七十七歳）
創生支援課	齊藤 京子さん（七十九歳）
創生支援課	佐藤 良子さん（七十八歳）
銀杏支援課	熊谷 金進さん（七十六歳）
銀杏支援課	保坂 成子さん（七十八歳）
銀杏支援課	金 弘子さん（六十九歳）
銀杏支援課	金子 一子さん（八十一歳）
銀杏支援課	栗田 志朗さん（八十八歳）
銀杏支援課	加納 養吉さん（八十歳）
赤光支援課	千葉 節子さん（八十二歳）
◇保護者	
創生支援課	工藤 恭子さんの保護者
創生支援課	鈴木 友子さんの保護者
赤光支援課	菅原 律子さんの保護者
白光支援課	鈴木 貴史さんの母
白光支援課	静子さん
開成支援課	当会 六代目会長 菅原幸一氏 (享年七十四歳)
開成支援課	北村 定男さんの保護者
開成支援課	小川 久子さん